|  |
| --- |
| 資料５ |

令和５年(2023年)　月　日

鎌倉市長　松 尾 崇 様

鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会

委員長　中 村　英 夫

鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン(案)について(答申)(案)

令和２年(2020年)７月２７日付け鎌深地第264号による諮問事項については、鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会条例に基づき、市長から委嘱を受けた委員それぞれが、専門的な知識やこれまでの鎌倉での公共的な活動等を通じた視野に立って、慎重に議論を重ねた結果、別添「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン（以下「ガイドライン」という。）（案）」のとおり、結論を得ましたので答申いたします。

　なお、別紙として、特に意見を付することとしたものであり、今後の取組において配慮するよう努めてください。

|  |
| --- |
| 別紙 |

【意見】

深沢地区のまちづくりは、「GREEN×INNOVATION　深沢」をまちのコンセプトとし、自然や緑、地球を守るための課題解決につながるまちを創り上げ、『深沢のウェルネス』の実現を目指すものです。

この事業は長期間に亘り未来へと続いていく事業のため、社会潮流の変化や事業の進捗に合わせてガイドラインを見直し、常に最先端の技術や制度をまちづくりに導入していくべきと考えます。

特に環境や交通に関しては、深沢地区のみならず鎌倉市全体の課題解決につながるため、研究及び検討を継続し、最先端の技術を取り入れていくことを期待します。

また、参入する事業者に対して、ガイドラインで示したまちのコンセプトや方針に適合するように土地利用や建築計画を協議、調整していくことになりますが、まちを運営していく、エリアマネジメントへの参画も要請していくことを期待します。

最後に、市はこれまでに様々な媒体を活用して情報発信を行うほか、説明会等で市民に説明を尽くしてこられましたが、今後もWEBやSNS等も活用して、情報に市民が触れる機会を十分に設けるとともに、可能な限り、平易な言葉や表現を用いて、市民とともに事業の着実な推進を図っていくことを期待します。